

「次世代」のために▶次世代のための島づくり

再生可能エネルギーによる
エネルギー自給率向上SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

今回のテーマは、「次世代」のために～再生可能エネルギーによるエネルギー自給率向上～についてお伝えします。

現状と課題

環境への配慮

- ◆令和3年1月に久米島町ゼロカーボンシティ（※1）を宣言しました。
- ◆2040年までに島内で消費されるエネルギーの100%を再生可能エネルギー（※2）によって自給することを目標にしています。
- ◆顕在化する気候変動危機の中、世界的に重要性が増している地球温暖化対策への取り組みとして、再生可能エネルギーの導入促進を行っています。
- ◆日常生活や事業所の活動など、町民一人ひとりが、様々な側面から環境に配慮した取り組みを進める必要があります。

※1 2050年に、二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との均衡の達成を目指す旨を、首長自らがまたは地方自治体として公表された自治体を指す。

※2 自然の活動によってエネルギー源が絶えず再生され、半永久的に供給、継続して利用できるエネルギー。地熱・太陽光・風力などのこと。

施策の展開

クリーンエネルギーの導入

- ◆太陽光発電や海洋温度差発電などの再生可能なクリーンエネルギーの導入を促進します。
- ◆脱炭素やカーボンニュートラル（※3）な社会を目指し、次世代モビリティ（※4）等の導入の検討を行います。
- ◆公共施設等の省エネ設備導入を推進します。
- ◆小中学校へのエネルギー教室を通じて、児童生徒、各家庭、町民への省エネルギーへの普及・啓発を推進します。
- ◆久米島町エネルギービジョン2020に基づき地球温暖化対策を推進します。

※3 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成すること。

※4 動きやすさ、可動性、移動性、流動性などの意味を持ち、交通や移動手段という意味で用いられることが多い。



太陽光発電（久米島町役場 屋上、駐車場）

目指そう指標



後期基本計画の全体版は久米島町ホームページに掲載しています。

右のQRコードか、「久米島町総合計画」で検索し、ぜひご覧ください▶▶▶

久米島町総合計画

検索

